

## 記念病院 理念 「人間愛」

### — 記念病院 基本方針 —

1. 患者様の人権と意思を尊重し、患者様の立場に立った医療の提供
2. 地域の中核的病院として、専門的且つ高度な医療を実践
3. チーム医療を推進し、より良い医療の希求
4. 豊かな人間性を備えた医療人の育成
5. 職員が意欲を持って働ける職場環境



## 患者の皆様の権利に関する宣言

当院では、患者の皆様の尊厳や人間性が尊重され、パートナーシップを強化し、以下の権利が守られることを宣言します。

1. 良質の医療を受ける権利  
患者の皆様は、差別されることなく適切な医療を受ける権利を有します。
2. 選択の自由の権利  
患者の皆様は、医師や病院或いは保健サービス施設を自由に選択し、変更することができます。また、いかなる段階においても別の医師の意見を求める権利を有します。
3. 自己決定権  
患者の皆様は、自分自身に関わる自由な決定を行う権利を有し、それに必要な情報を得る権利を有します。
4. 意思に反する処置  
患者の皆様は、意思に反する診断上の処置或いは治療は、原則的に行いません。
5. 情報に関する権利  
患者の皆様は、医療上の自己の情報を得る権利を有します。また、知らされずにおく権利と自分に代わって自己の情報の提供を受ける人を選択する権利も有します。
6. 守秘に関する権利  
診療の過程で得られた患者の皆様個人の情報は、全て保護されます。
7. 尊厳を得る権利  
患者の皆様は、いかなる状態にあっても人格的に扱われ、尊厳をもってその生を全うする権利を有します。

潤和会記念病院 院長 鶴田 和仁

**あとかぎ**  
こたつでみかん  
冬といえば「こたつでみかん」ですね。その言葉を聞くと、皆さんどんな情景を思い浮かべますか。寒い冬、はんでんを着てごろごろしながら、こたつの上にあるみかんをむいて食べているのでしょうか。日本人ならなんとなくいろんなイメージが湧きますよね。

ここでいう「みかん」とは温州蜜柑（うんしゅうみかん）のことです。英語では鹿児島県の意味合いもある「薩摩（サツマ）」と呼ばれているそうです。そして「こたつでみかん」はアメリカでは別名「TVオレンジ」と呼ばれているとか。ナイフで皮をむくオレンジが主流のアメリカでは、手で簡単に皮がむけるみかんは、テレビを見ながらでも簡単に食べられることで人気だそうです。

みかんに含まれる成分にはこんな効果もあるとのこと。  
ビタミンC…酸化作用があり、鉄の吸収促進、白内障の予防、がん予防、抗ストレス等の効果があります。  
ビタミンA…βカロテン等のカロテノイドは、体内でビタミンAに変換するプロビタミンAであり、酸化作用による免疫力強化作用があります。  
βクリプトキサンチン…みかんには特に多いβクリプトキサンチンは、動物実験でがん抑制効果があることが示されています。

食物繊維…便秘の予防のほか、糖質、脂質の吸収を遅くしたり、発がん性物質等の対外への排泄、善玉菌と呼ばれるビフィズス菌等の大腸菌での増加促進、悪玉コレステロールの上昇を抑える働き等により生活習慣病を予防する効果があります。

引用：農林水産省「毎日くだもの200グラム運動」毎日くだもの200グラムHPより

みかんには手軽に食べられるだけでなく、健康維持や疾病予防に必要な栄養素があったんですね。最近では発がん抑制効果も注目されているようです。さあ、こたつに入って早速みかんでも食べませんか。



# 潤うるおい

No. 51

2013年  
1月1日発行



一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団  
**潤和会記念病院**  
病院長 鶴田 和仁  
〒880-2112 宮崎市大字小松1119番地  
TEL0985-47-5555 FAX0985-47-8558  
<http://www.junwakai.com>

あけましておめでとうございます。

一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団  
代表理事 大野 和男



昨年、10月より一般財団法人に移行しましたので、その意味では今日より、宮崎県知事認可の「一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団」としては初めての新年です。心新たに迎えたいものです。

思い起こせば昭和22年1月に大野病院として歴史がはじまり、昭和26年に宮崎県知事より「財団法人潤和会」として認可されました。その後昭和58年に埼玉県所沢市の病院の運営を受け、2県に跨る財団法人となり、昭和60年4月、当時の厚生大臣所管の財団法人として認可され、現在の名称になってほぼ28年経ちました。その間いろいろなことがあり、昨年の新法人認可に対しては感無量でありました。

これからは、この宮崎県内での事業展開のみになりますが、この組織が地域に密着し、これからますます適切な医療、介護等を提供していかなければなりません。

人生の多くの時間を私たちは仕事に費やしています。したがって、是非自分の仕事に生きがいを感じ、誇りを持ちたいものです。医師、看護師、介護、リハビ

リスタッフ、給食、医事等いろいろな仕事がありますが、どのようなものであっても必要なものであり、優劣はありません。それぞれの持ち分に責任を持ち自信を持ってほしいものです。

現在の日本はいよいよ高齢化社会に突入します。年金、医療、介護どれをとっても諸々の問題がありますが、具体的な現実の問題として事態が発生した時は、直接現実的に接するのは私たち現場の人間です。私たちの持ち場で本人にとって最も良いサービスが提供できるようにしたいものです。

「人生とは水の流れるごとく、雲の流れるごとく」と何か分かるような分からないようなことを考えますが、生と死、健と病、若と老、全てを包括したことを受け入れること、すなわち人生を受容できるということでしょうか。

今年も皆さんにとって  
恙ない年でありますように、  
祈りつつ・・・



## 老化と心臓

内科部長 野津原 勝

心臓は、母胎で生を受けた瞬間から死ぬまで拍動を繰り返し、1日10万回、人生80年とすると実に30億回も動き続ける計算となります。これほど心臓は頑丈で精密な臓器ですが、正常な心臓にも加齢によりさまざまな変化が生じます。

### ◎高血圧

動脈硬化は20代から始まり、加齢とともに進行します。それに伴い血圧（おもに収縮期血圧）は上昇し、心臓は高い血圧に打ち勝ち全身に血液を送るために肥大してきます。心臓の壁が厚くなると心臓は拡がりにくくなり（拡張機能低下）、労作により心臓の負担が増えると肺や下肢に血液がうっ滞（流れにくくなる状態）し、うっ血性心不全を起こしやすくなります。

### ◎虚血性心疾患

心臓も他の臓器と同様に、その活動には酸素と栄養が必要で、その補給路が冠動脈と呼ばれる心筋に血を送る血管です。この冠動脈が細くなり十分な血液を送れなくなったり、血流が途絶えてしまう病気が狭心症や心筋梗塞で、虚血性心疾患といえます。虚血性心疾患の原因の大部分は冠動脈の動脈硬化で、加齢や高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙などにより促進されます。

### ◎弁膜症

心房と心室、心室と動脈の間には合計4つのバルブの役割をする弁があります。弁は心臓が拍動するたびに開閉しますが、閉じるときにぶつかり合い、次第に厚く硬くなります。また弁の付け根にカルシウムが沈着し硬く開きにくくなったり、心肥大に伴い拡張しうまく閉じなくなったりします。弁膜症の原因には、先天的な異常やリウマチ熱の後遺症の他に、高齢者の場合は加齢による弁の変性があります。弁が開きにくくなると血液を送り出すのに余分な力を必要とし、弁が閉じにくくなると血液が逆流しポンプとしての働きが悪くなります。放置すると心臓が疲れてきて心不全になってしまいます。

### ◎不整脈

心臓の拍動は、心臓内の洞結節といわれる部位でつくられる電氣的刺激が、刺激伝導系という経路を通り心臓のすみずみまで伝わることにより起こり、その結果、心臓全体が規則的に収縮します。洞結節や刺激伝導系も加齢による影響を受けます。洞結節がやられると脈拍が異常に遅くなる洞不全症候群という不整脈を、刺激伝導系がやられると洞結節の刺激が心室に伝わらず、心房と心室がバラバラなリズムで収縮する房室ブロックという不整脈を引き起こします。これらの不整脈では、脈拍が遅くなること（徐脈）が問題で、何秒間も脈が途絶えることにより、脳への血流が減少しめまいや失神を起こしたり、心臓から送られる血液が減り心不全になったりします。また、高血圧、弁膜症、心不全などの病気をもつ高齢者では、心房細動という不整脈もしばしばみられます。心房細動は脈拍がバラバラになってしまうもので、心房の中で血液の流れがよどむため、血栓という小さな血の塊ができやすくなります。この血栓がはがれて血流に乗って脳や腸の血管に詰まると、脳血栓塞栓症（元巨人軍監督の長嶋茂雄氏の病気）や腸壊死などの重篤な病気を引き起こします。

### ◎動脈硬化の予防

動脈硬化は年をとると誰にでも起こりますが、その進展を早めるいくつかの危険因子が明らかにされています。その代表的なものが高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、肥満、高尿酸血症などです。高齢者でも、これらの危険因子をコントロールすることにより、心血管系の動脈硬化を抑えることができ、死亡率も減らせることが証明されています。ですので、市町村が行う健康診断を定期的を受け異常の早期発見に努め、無症状でも高血圧や糖尿病などの治療をきちんと続けることが大切です。

## 【インフルエンザとは】

「インフルエンザ」とはインフルエンザウイルスの感染症です。インフルエンザウイルスはA型、B型、C型の3つに分類され、A型は変異しやすいため、世界的な大流行を引き起こすことがあります。B型も流行がありますが、A型ほどではありません。C型は軽症のことが多いです。感染経路はくしゃみや咳、痰などで吐き出される微粒子を介して感染する「飛沫感染」が中心です。



最近、小児のインフルエンザ脳症が問題となっています。

原因は不明ですが、インフルエンザウイルスの感染が引き金となり、突然の高熱に始まり、1～2日以内にうとうとした眠りから意識朦朧とした深い眠りにいたるさまざまな程度の意識障害が現れます。

多くの場合けいれんを伴いますが、最近ではけいれんなどの前兆がないまま急死するという報告もあります。

## 【ワクチン】

インフルエンザワクチンは接種してから実際に効果を発揮するまでに約2週間かかり、5か月程度予防効果が期待できると考えられています。

インフルエンザは例年12月～3月頃に流行するので12月中旬までにワクチン接種を行うことが望ましいと思われま。詳しくは最寄りの医療機関へ相談ください。

## 【治療薬】（主な商品名）

内服薬	シンメトレル®(A型のみ)、タミフル®
吸入薬	リレンザ®、イナビル®
点滴注射	ラビアクタ®
漢方薬	麻黄湯など



★治療薬は発症後48時間以降の投与では十分な効果は期待できません。体調に変化がある場合は、早めの医療機関受診を行ってください。

★服用後、異常行動がみられる場合があります。服用後は周囲の方々が十分注意してください。特にタミフル®は10代の未成年には原則として使用を差し控える必要があります。

★持病のある方は必ず医師に伝えてください。

★吸入薬は全身に及ぼす影響が少なく、副作用の発現も少ないと考えられます。また、イナビル®は1回の吸入で治療が済むお薬です。

## 【インフルエンザワクチンQ & A】

Q. 卵アレルギーの子供にインフルエンザワクチンを接種してもよいでしょうか？

A. ワクチンは製造段階でニワトリの卵を使用します。そのため稀にアレルギー症状が起こることもあります。インフルエンザにかかった場合のリスクと卵アレルギーの程度を考慮して接種を判断します。卵アレルギーのある方は医師に相談してください。

Q. 妊娠中のインフルエンザワクチン接種は可能でしょうか？

A. 可能です。妊娠中は免疫に変化が起こり、非妊娠時に比べ感染しやすくなっています。妊婦のインフルエンザ感染症は重症化する傾向にあり、積極的なワクチン接種が推奨されています。

Q. 授乳婦へのインフルエンザワクチン接種で乳児にも免疫ができますか？

A. 妊娠中の母体へのワクチン接種では胎盤を介した抗体移行により胎児の免疫獲得は可能ですが授乳婦へのワクチン接種では乳児に免疫は獲得されない可能性が高いと思われま。

Q. 免疫抑制状態（ステロイドや免疫抑制剤使用時）のインフルエンザ接種は可能でしょうか？

A. 免疫抑制剤を投与されている方はインフルエンザワクチンに限らずワクチン接種による免疫獲得が不良となる可能性があります。免疫抑制効果を示す抗がん剤についても同様です。免疫獲得は不十分になるかもしれませんが接種することは可能です。

Q. B型肝炎ワクチン、肺炎球菌ワクチンとは接種間隔をどれくらいあけたらいいでしょうか？

A. B型肝炎ワクチン、肺炎球菌ワクチンともに不活化ワクチンに分類されます。接種した日の翌日から起算して6日以上間隔をあけてインフルエンザワクチンを接種します。生ワクチンの場合は27日以上間隔をあけてインフルエンザワクチンを接種します。（生ワクチン・・・麻疹、風疹、おたふくかぜなど）インフルエンザワクチンを接種後に他のワクチンを接種する場合、不活化ワクチン・生ワクチンに関わらず6日以上間隔をあけます。



参考：一般社団法人日本ワクチン産業協会「予防接種に関するQ & A集」  
アステラス製薬・化学及血清療法研究所「インフルエンザQ & A」